

栄養診療部

■ スタッフ

栄養診療部長	伊藤 正明 (医師) 2019. 4. 30 まで
	兼児 敏浩 (医師) 2019. 5. 1 より
栄養診療部副部長	矢野 裕 (医師)
栄養診療部副部長/栄養士長	和田 啓子 (管理栄養士)
管理栄養士	9名 (常勤3名非常勤6名)
併任 医師	1名
併任 看護師	1名
併任 薬剤師	1名

■ 特色

患者個々に沿った適切な栄養管理により、疾病の治療、回復、予防を図るための栄養管理(患者給食、栄養指導等)の様々な業務を行っています。

■ 栄養管理業務

1. 患者給食

患者給食は国によって定められた食事基準に基づいて実施しています。様々な疾病治療の一環であると共に、入院生活を支える楽しみとしての食事となるよう工夫しております。(年間のべ約46万食を提供)

医療の進歩と共に治療食も変化するため、食事内容を定期的に見直し『食事基準の手引き』を改訂します。食事の種類は凡そ200種類あり、複雑な食品の組み合わせや調理工程等に対応しています。

一般的な食事として、朝食はご飯食かパン食の選択、昼夕食については一般食において肉あるいは魚の定食パターン、麺セット、パンセット、寿司の5種類の選択メニューと、化学療法時の生食禁止対応の3種類があります。また、季節を感じることができ、患者さんの健康を願う『行事食』の提供を年中行事に合わせて提供しております。給食業務は、株式会社日本ゼネラルフードへ委託しています。月1回は栄養診療部運営委員会と給食会社との患者給食業務定例会を開催するなど、日々、給食会社と協力し、安全で衛生的な美味しい食事を提供できるよう心掛けています。また、定期的に、入院患者さんを対象に食事アンケートを実施し、より良い病院食の提供を目指しています。

2. 栄養指導

個人栄養指導

糖尿病、肝疾患、腎疾患、脂質異常症、肥満、高血圧、心疾患、消化管疾患、先天性代謝異常症、癌化学療法、術前術後の栄養管理など、病態を考慮した食事療法を提案しています。入院では病院食に沿った栄養量と食事内容について、外来では個々の生活環境に合った食事療法の実践方法について、患者さんやご家族に指導しています。指導時に体組成や握力の測定を行い、栄養状態の評価と指導のツールとして活用しています。

集団栄養指導※

医師、栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師等の協力により行っています。

- ・両親学級 (毎週水曜)
- ・減塩教室 (月1~2回)
- ・糖尿病教室 (年6回)
- ・肝臓病教室 (年1回)
- ・膵がん教室 (年4回)
- ・膵がんグルメディカル教室 (年1回)

※2020年2月以降集団教室は感染対策にて中止

両親学級と各教室では、院内外の患者さんとそのご家族を対象に、関係スタッフからの講義と質疑応答を行っております。

グルメディカル教室は、院内外の患者さんとそのご家族を対象に、院内のキッチンスタジオにて、管理栄養士の調理実演、参加者の調理実習と試食会、医師の講義を行っています。

3. チーム医療

病棟担当栄養士制

主担当・副担当の2名体制にて各病棟の栄養管理を行っています。必要に応じて担当病棟の入院診療計画書作成、特別な栄養管理を必要とする患者さんについての栄養管理計画書作成、食事内容や食形態の調整を行い、早期回復・退院に向けて他の医療スタッフと連携し取り組んでいます。

栄養サポートチーム-Nutrition Support Team(NST)-

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、作業療法士、臨床検査技師、歯科医師、事務職員等で活動しています。週1回のカンファレンスとラウンド、月1回のNST定例会を開催しています。また、年1回の勉強会を主催し、定期的にNSTニュースを配信しています。

緩和ケアチーム

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等のメンバーで活動しています。週2回のカンファレンスと、週1回のラウンドに参加しています。

褥瘡対策チームカンファレンス

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、事務職員等で活動しています。週1回のカンファレンスに参加し、月1回の委員会に出席しています。

嚥下障害サポートチーム

医師、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、歯科医師、歯科衛生士で活動しています。隔週1回のカンファレンスに参加しています。

心不全リハビリカンファレンス

医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーで活動しています。週1回のカンファレンスに参加しています。

移植チームカンファレンス

医師(精神科、肝胆膵外科、腎泌尿器科等)、移植コーディネーター看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、事務職員等で活動しています。月1回のカンファレンスに参加しています。

4. 実習生の教育**実習生の受け入れ**

今年度は、管理栄養士養成校(名古屋文理大学、中部大学、鈴鹿医療科学大学)、栄養士養成校(三重短期大学)より実習生を受け入れました。献立作成や調理作業を通して、大量調理や給食管理について学び、栄養指導やカンファレンスの見学では、実際に患者さんと接することで栄養管理業務を体験できるようにしています。さらに、看護部、薬剤部、検査部、リハビリテーション部、医事課等、他部門の見学や講義を通して、多職種連携の必要性や、病院全体の業務についての理解を深められるようにしています。

また、他部門の実習生に対しては、見学や講義を通して病院の管理栄養士業務について紹介しています。

5. その他**肝臓学会主催 市民公開講座 2019.7.8**

“肝がんにならないために／肝がんになったらー予防と最新治療ー”

栄養相談会(体組成測定 InBody 及び栄養相談)について協力しました。

膝がん滅市民公開講座 2019.9.8**“パープルリボンウオーク&セミナー 2019 in 津”**

栄養相談ブースにて栄養相談を行いました。また、12F レストラン『四喜折々』作成のパープルパン(栄養診療部レシピ監修)と『平時煎餅本店』作成のパープルせんべいを販売しました。さらに、だしの味覚テストや栄養剤の試飲について協力しました。

みえ糖尿病市民公開講座 2019.11.10

“こども☆けんこう教室”「おやつクイズ」、「紙芝居」、「糖尿病のおはなし」について協力しました。

活動実績**1. 患者給食数****一般治療食**

270,952食(非加算)

特別治療食

173,179食(加算107,345食、非加算65,834食)

食堂加算

81,040食

選択メニュー提供料金算定件数

32,200食

2. 栄養指導件数**個人栄養指導 一般治療食**

19件(非加算 入院9件、外来10件)

個人栄養指導 特別治療食

入院 1,153件(加算1,009件、非加算153件)
外来 3,381件(加算3,242件、非加算139件)

集団栄養指導

入院 105件(加算67件、非加算38件)
外来 268件(加算41件、非加算227件)

3. その他加算**糖尿病透析予防**

51件

栄養サポートチーム加算

676件

緩和ケア診療加算

75件

4. 臨床研究等の実績

著書

原なぎさ. 脂肪肝、NAFLD・NASH. トレーニーガイド栄養食事療法の実習(第12版). 医歯薬出版. p108-110

原なぎさ. 肝硬変:代償期. 症例から学ぶ臨床栄養教育テキスト第3版5刷発行. 医歯薬出版株式会社. p128-133

原なぎさ. 肝硬変:非代償期. 症例から学ぶ臨床栄養教育テキスト第3版5刷発行. 医歯薬出版株式会社. p134-142

学会

原なぎさ. 肝炎医肝炎医療コーディネーターとしての管理栄養士の役割. 第55回日本肝臓学会総会

原なぎさ. ワークショップ9 肝疾患とサルコペニア・栄養異常～現状と展望～「総括」. 第55回日本肝臓学会総会

原なぎさ 他. パネルディスカッション1 膵がん患者のサポーターケア 膵がん患者と家族へのサポーターケアにおける栄養士の役割. 第50回日本膵臓学会大会

和田啓子 他. 合併症シンポジウム8 糖尿病透析予防指導の在り方と課題 糖尿病透析予防指導における栄養指導の問題点と課題. 第34回日本糖尿病合併症学会・第25回日本糖尿病眼学会総会

森貴宣 他. 膵がんグルメディカル教室の取り組みと継続の工夫. 第9回膵がん教室ワークショップ

原なぎさ 他. シンポジウム10 肝性脳症を合併した肝硬変患者の栄養治療 肝性脳症合併肝硬変患者の栄養管理-栄養士の立場から-. 第22回日本病態栄養学会

若林咲 他. 成人発症Ⅱ型シトルリン血症に対し、食事療法を開始した一症例. 第23回日本病態栄養学会.

森貴宣 他. 継続的に減塩教室に参加した患者の取り組みについて. 第23回日本病態栄養学会.

酒井真奈 他. 心臓リハビリカンファレンスにて多職種により介入した若年性心筋梗塞の一例. 第23回日本病態栄養学会.

宮村みさ子. 三重大学における食物アレルギーに対する病院食の取り組みと症例紹介. 第36回三重県アレルギー研究会.

講演

原なぎさ. 肝疾患とサルコペニア. 大塚製薬web講演会. 主催:大塚製薬

若林咲. 成人発症Ⅱ型シトルリン血症に対し、食事療法を開始した一症例. 第15回肝疾患病態栄養研究会.

石留真寿美. 栄養ケアマネジメント、NSTにおける栄養相談・指導. 三重短期大学社会福祉論講義

三澤雅子. がん患者さんの『食べる』を支える. 三重県がん相談支援センターサポーター研修会

原なぎさ. 肝硬変のマネジメント. 今こそ学び直すアルコール性肝障害と肝硬変の栄養療法とマネジメントの極意. 佐賀肝疾患研究会. 主催:大塚製薬.

石留真寿美. 当院の肝炎炎症の掘り起こしにむけての取り組み. 2019年メディカルスタッフ・肝炎医療コーディネーター研修.

宮村みさ子. 栄養士の現場. 2019年度 三重短期大学キャリア形成セミナー

和田啓子. フレイルを予防する食事の工夫-目指そう健康長寿-. 2019年度名張市民公開講座

服部文菜. アンサーパットで学ぶ腎臓病患者さんに対する栄養と電解質異. 腎と栄養セミナー. 主催:中外製薬株式会社

三澤雅子. がん治療を支える食事の工夫. パープルリボンウォーク&セミナー2019 in 津～膵がんの克服を目指して～.

和田啓子. 食事療法. 第44回糖尿病療養指導士育成のための講習会.

原なぎさ. 肝疾患の栄養管理-栄養士の立場から-. Oita Liver Forum 主催:大塚製薬.

三澤雅子. 糖尿病性腎症の栄養指導-ポイントと留意点-. 三重県糖尿病重症化予防人材育成研修会

宮村みさ子. がん患者さんの栄養療法. 三重県がんにおける質の高い看護師研修.